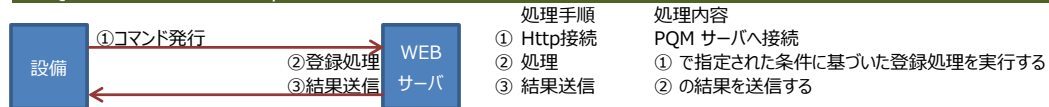


Process Quarity Monitoring System Version 4

作成日	2018/10/15	笹田 . GPE
更新日	2019/08/07	下山田 GPE

【 PQM データ新規登録 Http PUT 】



① リクエスト発行

形式 (URL) `http://xxx.xxx.xxx.xxx/rms-ng/api/resource`
json形式にて、シリアル番号、設備ステータス、理由コードを送ります。

説明 {
 "serial_cd": "機種名",
 "datatype_id": "データ分類キー",
 "line_cd": "LINE番号",
 "status": "設備ステータス0または1 (0:Normal, 1:Reject)",
 "reason_cd": "理由コード"
},

③ 結果送信

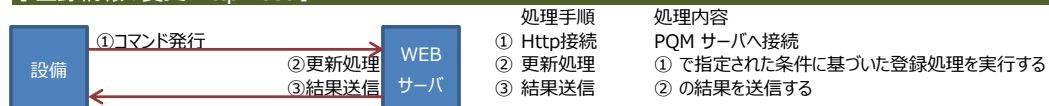
通信 正しく通信できた場合は、Status Codeで "200"を返します

形式 json形式にて、シリアル番号、データ分類キー、ライン番号、作成日時、更新日時、設備ステータス、理由コードを返します

説明 {
 "serial_cd": "機種名",
 "datatype_id": "データ分類キー",
 "line_cd": "LINE番号",
 "created_at": "作成日時",
 "updated_at": "更新日時",
 "status": "設備ステータス0または1 (0:Normal, 1:Reject)",
 "reason_cd": "理由コード"
},

リクエスト発行の例: `$ curl -v -H 'Content-Type: application/json' -X PUT -d '{"serial_cd": "test04", "datatype_id": "test", "line_cd": "tt", "status": "0", "reason_cd": "001"}' http://xx.xx.xx.xx/rms-ng/api/resource`

【 登録情報の変更 Http Post 】



① リクエスト発行

形式 (URL) `http://xxx.xxx.xxx.xxx/rms-ng/api/resource`
json形式にて、シリアル番号、設備ステータス、理由コードを送ります。

説明 {
 "serial_cd": "機種名",
 "status": "設備ステータス0または1 (0:Normal, 1:Reject)",
 "reason_cd": "理由コード"
},

③ 結果送信

通信 正しく通信できた場合は、Status Codeで "200"を返します （200以外が返ってきた場合は、登録情報の確認またはデータ新規登録をお試しください。）

形式 json形式にて、シリアル番号、データ分類キー、ライン番号、作成日時、更新日時、設備ステータス、理由コードを返します

説明 {
 "serial_cd": "機種名",
 "datatype_id": "データ分類キー",
 "line_cd": "LINE番号",
 "created_at": "作成日時",
 "updated_at": "更新日時",
 "status": "設備ステータス0または1（ 0:Normal, 1:Reject ）",
 "reason_cd": "理由コード"
},

リクエスト発行の例：\$ curl -v -H 'Content-Type: application/json' -X POST -d '{"serial_cd":"test00","status":"1","reason_cd":"002"}' http://xx.xx.xx.xx/rms-ng/api/resource